

芽吹く春、学びの季節。

平成21年度 ノースアジア大学 総合研究センター主催

# シティカレッジ2009

前期公開講座4月24日スタート!

会場／ノースアジア大学・明德館ビル2階カレッジプラザ・秋田県民会館・秋田市文化会館大ホール



ノースアジア大学総合研究センター

# 平成21年度前期シティカレッジ開講に向けて

本学総合研究センターの公開講座《シティカレッジ》も5年目の春を迎えました。  
小林秀雄が、本居宣長の「古事記伝」について、次のようなことを云っております。

本居宣長の「古事記伝」を読んだ時にも同じ様な事を感じました。あの本が立派なのは、はじめて彼が「古事記」の立派な考証をしたという処だけにあるのではない。今日の学者にもあれより正確な考証は可能であります。然しあの考証に表れた宣長の古典に対する驚くべき愛情は、無比のものなのである。彼には「古事記」の美しい形というものが、全身で感じられていたのです。

小林秀雄「歴史の魂」より

シティカレッジでのご講演や演奏は、一瞬のものです。過ぎ去ってしまえば、その場には何も残りません。しかし、会場に詰めかけてくださった多くの市民の皆様や本学の学生達の顔を思い浮かべる時、私はおそらく何かを得て帰られる方々がほとんどではないか、と思うのです。本学客員教授、准教授、主任研究員をはじめとする講師の方々の、ご自分の専門分野への情熱、学問への深い思いが、確かに受講者の皆様に伝わっている熱気をいつも感じます。

今年度も、観光学のシンポジウムを始めとして、政治学の講演会、映画上映及び講演会、吹奏楽のコンサート、経済学及び地方自治について学ぶ講座等、多彩な企画で、皆様をお待ちしています。

本学のシティカレッジが、この厳しい時代を共に生きる人々の心に灯火をともし、明日への活力と知識を養う場となることを願っています。

最後になりましたが、公開講座の開催にあたり、ご協力いただきました学内外の皆様に、心より感謝を申し上げます。次第です。

ノースアジア大学理事長・学長

小 泉 健

# ご 案 内

ノースアジア大学総合研究センター主催のシティカレッジ(公開講座)につきまして、ご案内申し上げます。

公開講座の日程は右頁のとおりとなっております。会場の案内図は20頁に掲載しております。原則として16歳以上または高校生以上の方であれば、学歴を問わず、どなたでも受講できます。ただし、「岡田裕介氏講演会・映画上映会」および「ノースアジア大学ウインドオーケストラ・コンサート」につきましては、中学生以下の方も受講できます。受講につきましては、下記のとおりお申し込みくださいますよう、よろしくお願いいたします。

## 1. 申込方法

下記のように3通りの方法でお申し込みできます。各講座とも開講日の前日までにお申し込みください(必着)。ただし、No.3「岡田裕介氏講演会・映画上映会」、No.4「ノースアジア大学ウインドオーケストラ・コンサート」につきましては、巻末綴じ込みの専用『郵便往復はがき』でお申し込みください。

### ① 郵送・FAX

巻末綴じ込みの専用『シティカレッジ(公開講座)受講申込書』をご利用ください。  
複数でお申し込みの場合は、コピーしてお使いください。

### ② はがき

巻末綴じ込みの専用『郵便はがき』をご利用ください。

### ③ ホームページ・E-mail(メール)

※下記「お問い合わせ先」のURL、アドレスとなります。  
ホームページからお申し込みの場合、お申し込み画面のフォームに従い入力してください。  
E-mail(メール)の場合、上記①の『シティカレッジ(公開講座)受講申込書』を参考に、受講者のご氏名(フリガナを振ってください)、ご住所、ご連絡先、講座名、(有料講座の)受講料をご連絡ください。

## 2. 申込書類の受付完了

申込書類(はがき、FAX等)が当センターに届いた時点で「受付完了」となりますが、当センターから受付完了の連絡(メール、電話等)はいたしておりませんので、予めご了承願います。万が一、定員に達した場合は当センターより連絡いたしますが、連絡のない場合は直接会場へお越しください。

## 3. 受講料の支払方法

(有料講座の)受講料につきましては、巻末綴じ込みの専用『銀行振込用紙』をお使いください。秋田銀行の本店・支店から指定期間内「4月1日(水)から7月23日(木)」のお振り込みの場合は、振込手数料が全額免除されますので、ご利用をお勧めいたします(受講料は開講日の前日までにお振り込みください)。  
※専用『銀行振込用紙』は、各金融機関の窓口(郵便局を除く)でお振り込みすることも可能ですが、所定の振込手数料がかかります。

## 4. 一般の方が受講する場合の特典(修了証)

平成20年度から平成22年度まで(第2期)のシティカレッジを30コマ以上受講された方に対しまして、シティカレッジの第2期修了証を授与いたします(第2期終了後、該当者へご連絡いたします)。  
※講演会などは受講1回で1コマとしますが、No.5「経済学部講座」のように複数回に渡る講座は、6回受講したとすると6コマとなります。コマ数は、平成20年度から平成22年度までの累積となります。ただし、No.3「岡田裕介氏講演会・映画上映会」、No.4「ノースアジア大学ウインドオーケストラ・コンサート」および「無料法律相談会」はコマ数にカウントされません。

## 5. 受講に際して

- 1) No.5「経済学部講座」、No.6「自治体行政入門」を途中から受講される場合、事前に当センターまでお問い合わせください。
- 2) 本学の学生は、学生証を会場受付で提示してください。
- 3) 会場・教室内での喫煙・飲食は、ご遠慮ください。
- 4) 講師・会場係員の指示に従い、良識ある態度での受講を心掛けてください。
- 5) 有料の講座において講師の急病、事故等で休講する場合は、原則として補講を行います。また、有料講座において同理由でやむを得ず閉講する場合は、閉講回数に基づいた受講料をご返却いたします。
- 6) 本学以外の会場では、駐車場の台数が限られておりますので、ご了承ください。

### お問い合わせ先

ノースアジア大学総合研究センター  
〒010-8515 秋田市下北手桜字守沢4-6-1(40周年記念館3F)  
TEL 018-836-6592・4531 FAX 018-836-6530 E-mail scenter@nau.ac.jp  
URL <http://www.nau.ac.jp/~center/>

# 平成21年度前期シティカレッジ（公開講座）日程一覧

No.	公開講座名・講師名	開催日時・会場	受講料（回数）
1	<b>第2回観光学シンポジウム「観光立県と人材育成」</b> 基調講演 パネルディスカッション 《コーディネーター》 学校法人ノースアジア大学理事長・学長 <b>小 泉 健</b> 氏 《講師・パネリスト》 東海大学チャレンジセンター教授 ノースアジア大学国際観光研究所顧問 <b>小 泉 正</b> 氏 ノンフィクション作家 評論家 ノースアジア大学客員教授 <b>石 川 好</b> 氏 前小坂町 町長 ノースアジア大学客員教授 <b>川 口 博</b> 氏 NHK秋田放送局 局長 <b>前 田 成</b> 氏	<b>4月24日（金）</b> 13:00～16:00 （開場12:30） ノースアジア大学 40周年記念館3階講堂	無料 （1回）
2	<b>講演会</b> <b>①「2009年の政局展望と壊れてゆく日本」</b> <b>②「地方自治と現場力」</b> 白鷗大学教授 ノースアジア大学客員教授 <b>福 岡 政 行</b> 氏	<b>①5月 8日（金）</b> 13:00～14:30 （開場12:30） カレッジプラザ講堂 <b>②7月 4日（土）</b> 14:00～15:30 （開場13:30） ノースアジア大学 40周年記念館2階271番教場	無料 （2回）
3	<b>岡田裕介氏講演会「映画よもやま話」</b> <b>東映新作映画「劔岳 点の記」上映会</b> 東映株式会社 代表取締役社長 ノースアジア大学客員教授 <b>岡 田 裕 介</b> 氏	<b>5月29日（金）</b> 13:30～17:10 （開場13:00） 秋田市文化会館 大ホール	無料 （1回）
4	<b>ノースアジア大学ウインドオーケストラ・コンサート</b> 秋田吹奏楽団音楽監督 ノースアジア大学客員准教授 <b>佐 藤 正 人</b> 氏 テノール歌手 ノースアジア大学客員准教授 <b>小 林 彰 英</b> 氏 ピアニスト 東京音楽大学専任講師 <b>腰 塚 賢 二</b> 氏 ノースアジア大学・秋田栄養短期大学・明桜高等学校吹奏楽部部員 ノースアジア大学吹奏楽団顧問 <b>白 川 欽 哉</b> 氏 明桜高等学校吹奏楽部顧問 <b>石 崎 聖 也</b> 氏 明桜高等学校吹奏楽部顧問 <b>佐 藤 由 梨</b> 氏	<b>7月17日（金）</b> 13:30～16:00 （開場13:00） 秋田県民会館 大ホール	無料 （1回）
5	<b>【吹奏楽のための合奏クリニック】</b> 秋田吹奏楽団音楽監督 ノースアジア大学客員准教授 佐藤正人氏監修 モデルバンド：ノースアジア大学ウインドオーケストラ	<b>7月17日（金）</b> 17:30～19:00 秋田県民会館 大ホール	無料 （1回）
6	<b>経済学部講座～生活防衛のためのマネー講座～</b> ノースアジア大学経済学部長・教授 <b>海老川 寿美夫</b> 氏 (有)アセット・プランニング代表取締役 ノースアジア大学経済学部客員准教授 <b>田 畑 貴 行</b> 氏 (有)アセット・プランニング代表 <b>五 井 優 子</b> 氏 ノースアジア大学経済学部専任講師 <b>北 野 友 士</b> 氏	<b>6月23日・6月30日・7月 7日</b> <b>7月14日・7月21日・7月28日</b> 各火曜日18:30～20:00 カレッジプラザ講義室	1,500円 （6回） （本学の学生は無料）
7	<b>自治体行政入門</b> 秋田県建設交通部建設交通政策課 課長 <b>山 田 芳 浩</b> 氏	<b>5月13日・5月20日・5月27日</b> <b>6月 3日・7月 8日・7月15日</b> <b>7月22日・7月29日</b> 各水曜日18:30～20:00 カレッジプラザ講義室	1,600円 （8回） （本学の学生は無料）

## 第2回 観光学シンポジウム 「観光立県と人材育成」

開講日時 4月24日(金) 午後12時30分開場 午後1時～4時  
会場 ノースアジア大学 40周年記念館3階 講堂



### ● 基調講演

#### 「世界で一つ」の魅力を磨く

◆ 講師 / 泉 正史 氏

##### プロフィール

現 職 東海大学チャレンジセンター教授  
ノースアジア大学国際観光研究所 顧問  
履 歴 (株)ANA総合研究所 取締役副社長



#### 文化としての「観光」

◆ 講師 / 石川 好 氏

##### プロフィール

現 職 ノンフィクション作家・評論家  
酒田市美術館 館長  
ノースアジア大学総合研究センター客員教授  
履 歴 秋田公立美術工芸短期大学 学長



### ● パネルディスカッション

◆ コーディネーター / 小泉 健 氏

##### プロフィール

現 職 学校法人ノースアジア大学 理事長  
ノースアジア大学・秋田栄養短期大学 学長  
履 歴 仙台・秋田地方検察庁 検事  
秋田弁護士会 副会長  
学校法人 秋田経済法科大学 常務理事



◆ パネリスト / 泉 正史 氏

◆ パネリスト / 石川 好 氏

◆ パネリスト / 川口 博 氏

##### プロフィール

現 職 ノースアジア大学総合研究センター 客員教授  
履 歴 小坂町 町議会議員  
小坂町 町長



◆ パネリスト / 前田 成志 氏

##### プロフィール

現 職 NHK秋田放送局 局長  
履 歴 NHK報道局制作センター  
(おはよう日本)チーフ・プロデューサー  
NHK視聴者サービス局 (企画)部長

## 観光学シンポジウム 「観光立県と人材育成」 概要

秋田県は白鳥の飛来や水郷として名高い、全国でも自然に恵まれた美しい地方である。しかしながら、近年少子高齢化が進み、進学や就職等で若い世代の県外への流出も止まらない。地域振興の大きな柱として、今、県民挙げて取り組むべき課題の一つが、魅力ある観光地づくりであろう。

観光立国宣言を受けて、各県・市町村が民間団体と共に、埋もれていた観光資源を掘り起こし、活力ある人材育成を行い、地域振興を目指そうとしている。本県でも、エコ・タウン小坂町の取り組みや、男鹿のナマハゲ、仙北市の自然と文化遺産の融合など、全国的に知られる観光スポットが増えつつある。

このような本県の取り組みを持続的に続けるためには、観光や地域振興のリーダーとなるべき人材を育成しなくてはならない。また今、国内外の観光産業において求められているものを正確に知り、地域の活性化と魅力ある観光地づくりに活かしていかななくてはならない。

以上のような趣旨で、各界でご活躍のパネリストの方々をお招きし、ご討論いただければと考えている。

### ◆ 基調講演・パネルディスカッション内容 ◆

#### ● 泉 正史 氏

##### ◇ 「世界で一つ」の魅力を磨く

日本は戦後、世界第二位の経済大国にまで発展を遂げましたが、今人口の減少と急速な高齢化に直面しています。グローバル化、情報化がすすみ、国境を越えた大競争時代となった今、国や地域の発展を支える新たな基幹産業として、観光に期待が高まっています。

国は昨年秋には観光庁を発足させ、また、美しい自然や独自の文化など有形、無形の魅力ある観光資源があるここ秋田県でも、観光立国推進に向けて多くの取り組みが始まりました。しかし、そうした努力が実を結ぶには、訪問客にこれら観光資源の魅力を堪能してもらう楽しみ方を組み立て、実行する人材が必要です。それができる人材を如何に育てるか、秋田の観光発展の鍵はそこにあると言えるでしょう。

#### ● 石川 好 氏

##### ◇ 文化としての「観光」

観光は平和産業である。訪問する土地や国が平和で安定していないのであれば、そこに歴史的な遺跡や美しい自然があっても、客は一人としてやって来ないからだ。

観光は地域に大きな雇用を生み出す産業である。老若男女、だれでもが、通訳、案内人、仲居さん、土産品売場等々、それぞれの職場で年齢性別を問わず役を果たすことのできる珍しい仕事である。

観光は文化である。見物に訪れる人、これを迎え入れる人が、それぞれの異文化をぶつけ合う産業である。かつて味わったことのない食材、見たこともない風景、触れたことのない自然と出会うことで、そこにそれらを体験した人間による新しい何かが生まれる。

そのことで、そこにある文化が生まれるのである。

#### ● 川口 博 氏

##### ◇ 観光産業が未来の秋田を切り開く

県内25市町村はそれぞれ個性があって、独自の文化を育てています。文化とはその地域の生き様であり、いろいろなものを作り継承しながら人々の生活が営まれております。

そこにあるものを十分に磨き、ないものは生みだしていく。この装置が観光産業であり、この観光産業こそが巨大な産業としての可能性を秘め、秋田の限りない発展に寄与するものと信じています。

#### ● 前田 成志 氏

##### ◇ 桃源郷「あきた」

新幹線から見えるミズバショウ。あちこちの野山に咲き群れるカタクリの花。竿燈、なまはげ、西馬音内盆踊り、そして大日堂舞楽など、いずれも特異な伝統文化が残されています。“食”に目を転じれば、きりたんぽにしょつつる、比内地鶏にがっこ。全国にその名を知られる多くの郷土食を誇っています。

みなさんは、そんなふるさと、都道府県を、ほかに思いつきますか？ そうした秋田の良さを、どう観光に活かそうと考えていますか？なぜ、秋田県に豊かな文化・暮らしが残されているのでしょうか？私は学力日本一も、そうした秋田の力に拠っていると思っています。いっしょに考えましょう！

## 福岡 政行 氏 講演会



講師 福岡 政行 氏

### ◆ プロフィール ◆

現 職 白鷗大学 法学部教授  
立命館大学 客員教授  
ノースアジア大学 総合研究センター 客員教授  
履 歴 早稲田大学大学院 政治学研究科 博士課程修了  
駒澤大学 法学部助教授

### 第 1 回

## 「2009年の政局展望と壊れてゆく日本」

開講日時 5月8日(金) 午後12時30分開場 午後1時～2時30分  
会 場 明德館ビル2階 カレッジプラザ講堂

#### < 講演内容 >

2009年は日本にとって正念場、そして変化の年になりそうだ。間近に迫った衆院選挙で有権者はどのような選択をするのか。現時点ではネジレ国会の解消と政権交代の可能性が大である。民主党は政権政党の責務を果たせるのか、自民党はこのまま自壊してゆくのか。

米国発の経済危機も日々その深刻さを増している。外需の大幅な減少の中で、企業業績は軒並みダウンである。経済危機の下では正規も非正規もない。雇用情勢は悪化の一途を辿ることになる。

経済危機、格差社会、地域衰退、こうした危機に日本政治がどのように対応してゆくのか、現状報告と共に日本政治の今後を展望する。

### 第 2 回

## 「地方自治と現場力」

開講日時 7月4日(土) 午後1時30分開場 午後2時～3時30分  
会 場 ノースアジア大学 40周年記念館2階 271番教場

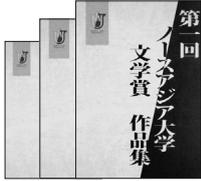
#### < 講演内容 >

小泉改革の中で、特に地方自治に深刻なダメージを与えたのが<三位一体の改革>である。雀の涙ほどの財源移譲と引き換えに、大幅な国庫支出金の削減、地方交付税の削減が行われた。この制度改革の結果として地方財政は一段と厳しくなり、公共事業も福祉も教育も、いたるところで予算を削らねば立ち行かない事態となっている。また、昨年度からの経済危機の影響で、さらなる税収減が危惧されている。

まさに地方自治の危機であるが、地方自治は市民にとって教育の現場であり、医療・介護、そして生活の現場である。

秋田県は教育立県になりつつあるが、地方自治では特に現場力が求められる。右肩下がり時代の街づくり、財政難が深刻化する中での地方自治について考える。

# 第二回ノースアジア大学文学賞



秋田県は多くの優れた文学者を輩出しています。若い皆さんに文学の喜びを知っていただきたいと常々考えておりました。この文学賞への応募をきっかけとして、文学の新しい芽が開かれれば大変うれしいです。

- 部 門**
- I 高校生の部門 (1) エッセイ(自由作品)の部  
(2) 小説・フィクションの部
  - II 大学生・一般の部門 エッセイ(自由作品)の部

※小説・フィクションの部は、高校生だけの募集となります。

**応募内容** 高校生の部門及び大学生・一般の部門において、広くエッセイを公募いたします。テーマ及び形式は自由です。なお、エッセイには、随想・評論を含みます。また高校生の部門のみ、第二回より「小説・フィクションの部」を設けました。自由に空想の翼を広げ、自分自身を表現してください。

**応募規定** 応募枚数は、高校生部門、大学生・一般の部門共に400字詰め原稿用紙5～10枚です。なお応募はオリジナルで未発表の作品に限ります。

- (1) 表紙または1枚目冒頭に、タイトルと氏名を必ず明記してください。原稿用紙は縦書きで使用してください。ワープロ原稿の場合は40字×30行で印字してください。なお、どちらの場合もホチキス、綴りひも等で1冊に綴じて提出してください。
- (2) 住所、氏名、電話番号、年齢、職業、略歴を明記した別紙を添付し、総合研究センターまでご郵送ください。(出来れば巻末綴じ込みの応募用紙を使用してください。)

**応募資格** アマチュアに限ります。年齢、学歴等は不問です。

- 賞**
- I 高校生の部門
    - ◎最優秀賞…賞状と記念品(5万円相当の旅行券)
    - ◎優秀賞…賞状と記念品(3万円相当の旅行券)
  - II 大学生・一般の部門
    - ◎最優秀賞…賞状と記念品(5万円相当の旅行券)
    - ◎優秀賞…賞状と記念品(3万円相当の旅行券)

**【応募期間】** 2009年4月8日(水)～9月8日(火)  
**【発 表】** 2009年11月上旬 文学賞授賞式

## ☆ 審査員 ☆

**井上 隆明氏**  
日本近世文学研究者  
元秋田経済法科大学学長

**石川 好氏**  
ノンフィクション作家・評論家  
ノースアジア大学客員教授

**小泉 健氏**  
学校法人ノースアジア大学  
理事長・学長

**橋元 志保氏**  
ノースアジア大学准教授  
本学総合研究センター参与

第一回文学賞はおかげさまで多くの皆様のご協力をいただき、204作品のご応募がございました。本学の初めての試みとなる文学賞にご応募いただき、誠にありがとうございます。

第1回ノースアジア大学文学賞 受賞者

◆高校生 課題作品 最優秀賞 「仕事と生きがい」 秋田県立田代高等学校 3年	◆高校生 自由作品 最優秀賞 「少年シンクローム」 秋田県立田代高等学校 3年
◆大学生・一般 自由作品 最優秀賞 「離れては遠くへ」 秋田県立田代高等学校 3年	◆大学生・一般 自由作品 最優秀賞 「離れては遠くへ」 秋田県立田代高等学校 3年
◆高校生 課題作品 優秀賞 「加藤」 三浦 悠希子(みきほ) 秋田県立田代高等学校 3年	◆高校生 自由作品 優秀賞 「加藤」 三浦 悠希子(みきほ) 秋田県立田代高等学校 3年
◆高校生 自由作品 優秀賞 「おばあちゃんへ」 秋田県立田代高等学校 3年	◆高校生 自由作品 優秀賞 「おばあちゃんへ」 秋田県立田代高等学校 3年
◆高校生 自由作品 優秀賞 「おばあちゃんへ」 秋田県立田代高等学校 3年	◆高校生 自由作品 優秀賞 「おばあちゃんへ」 秋田県立田代高等学校 3年
◆高校生 自由作品 優秀賞 「おばあちゃんへ」 秋田県立田代高等学校 3年	◆高校生 自由作品 優秀賞 「おばあちゃんへ」 秋田県立田代高等学校 3年
◆高校生 自由作品 優秀賞 「おばあちゃんへ」 秋田県立田代高等学校 3年	◆高校生 自由作品 優秀賞 「おばあちゃんへ」 秋田県立田代高等学校 3年
◆高校生 自由作品 優秀賞 「おばあちゃんへ」 秋田県立田代高等学校 3年	◆高校生 自由作品 優秀賞 「おばあちゃんへ」 秋田県立田代高等学校 3年
◆高校生 自由作品 優秀賞 「おばあちゃんへ」 秋田県立田代高等学校 3年	◆高校生 自由作品 優秀賞 「おばあちゃんへ」 秋田県立田代高等学校 3年



第一回文学賞授賞式 受賞者記念写真



最優秀賞受賞者  
(左から斎藤慧未さん、  
田村昭子さん、能登谷翔太さん)



●ご希望の方には、文学賞の応募要項を本学総合研究センターから送付いたします。  
 お問い合わせ先 ノースアジア大学総合研究センター (40周年記念館3F)  
 TEL 018-836-6592 FAX 018-836-6530 E-mail scenter@nau.ac.jp  
 〒010-8515秋田市下北手桜字守沢4 6-1 URL: <http://www.nau.ac.jp/~center/>

## 岡田 裕介氏講演会・東映映画「劔岳 点の記」上映会

開催日時 5月29日(金) 午後1時開場 午後1時30分～5時10分 (映画上映は2時間19分の予定です)  
会場 秋田市文化会館 大ホール  
講師 岡田 裕介 氏



### ◆プロフィール

現 職 東映株式会社 代表取締役社長  
ノースアジア大学 総合研究センター 客員教授

履 歴 慶応義塾大学商学部 卒業

### 岡田 裕介氏講演会「映画よもやま話」

『劔岳 点の記』など、映画の製作にかかわるエピソード、裏話などユーモアをまじえてお話ししたい。

映画「劔岳 点の記」(©2009「劔岳 点の記」製作委員会)

6月20日(土) 全国ロードショー  
**先 行 上 映**

### 【作品解説】

明治40年(1907年)、古来その険しさから「針の山」、宗教上の理由から登ってはならない「死の山」と云われてきた前人未踏の山・劔岳に、不屈の闘志、献身の心、仲間の絆を信じて挑んだ男たちがいた。

原作は『八甲田山 死の彷徨』『富士山頂』『武田信玄』などで知られる、新田次郎の同名小説。「日本地図完成」という使命を果たす為、険しい山中27箇所に三角点を設置した明治人の高潔な生き様を記した新田文学の白眉である。監督・撮影を手がけるのは、木村大作。この作品に、“いま、失われつつある日本人の持つべき魂の姿がある”と思いを募らせ、『八甲田山』『駅 STATION』『火宅の人』『鉄道員(ぽっぽや)』など数多くの作品で、日本人の心と自然を撮り続けてきたカメラマン・木村大作にとって、50年の映画人生全てをかけて取り組む、50本目にして初めての監督作品となる。

出演者は、測量手・柴崎芳太郎に浅野忠信、案内人・宇治長次郎に香川照之、測夫・生田信に松田龍平、柴崎の妻・葉津よに宮崎あおい、日本山岳会・小島烏水に仲村トオル、元測量手・古田盛作に役所広司ら、スクリーンで圧倒的な存在感と演技力を発揮し、日本のみならず世界で活躍するキャストがそろった。

撮影は、四季折々の、ひれ伏すほどの美しくも厳しい大自然、そこに挑む人間の働き姿をフィルムに焼き付けるために、延べ200日以上を費やし、標高3000メートルを越え、最低体感温度が氷点下40度超の劔岳・立山連峰各所でのほぼ順を追ってのロケーションを敢行。100年前に実際に測量隊が登り、三角点を設置した山々を忠実に登っての撮影という徹底したリアリズムを追及、時に“天幕(テント)生活”も交えながらのロケとなった。

音楽は、黒澤明作品をはじめ数多くの映画音楽を手掛ける池辺晋一郎を音楽監督に迎え、木村監督自ら選曲したクラシックの名曲の数々、ヴィヴァルディ『春』、バッハ『幻想曲とフーガ』などが全篇を彩り、自然と人間の織り成す壮大なドラマを盛り上げる。

木村監督自ら「これは撮影ではない。“行”である」と称する、前代未聞のスケールで製作された『劔岳 点の記』。最高の映画キャスト・スタッフの力が集結してのみ達しうる“奇跡の映画”が、ここに誕生した。

### 【物語】

日露戦争後の明治39年、陸軍は国防のため日本地図の完成を急いでいた。陸軍参謀本部陸地測量部の測量手、柴崎芳太郎は最後の空白地点を埋めるため「陸軍の威信にかけて、劔岳の初登頂と測量を果たせ」という命令を受ける。立山連峰に屹立する劔岳は、その険しさを前にして、多くの優秀な測量部員をもってしても、未踏峰のままであった。創設間もない日本山岳会も、海外から取り寄せた最新の登山道具を装備し登頂を計画しており、「山岳会に負けてはならぬ」という厳命も受ける。

前任の測量手・古田盛作を訪ねた柴崎は、あらためて劔岳の恐ろしさを知るが、アドバイスとともに案内人として宇治長次郎を紹介される。新妻・葉津よの励ましを受けて富山に向かった柴崎は、宇治と合流、調査の為に山に入ったが、謎めいた行者の言葉「雪を背負って登り、雪を背負って降りよ」以外、登頂への手掛かりすら掴めずに帰京する。

そして翌明治40年(1907)、測量本番の登山へ。柴崎・宇治に、測夫の生田信らを加えた総勢7人で、池ノ平山・雄山・奥大日岳・劔御前・別山など周辺の山々の頂に三角点を設置し、いよいよ劔岳に挑む。

しかし、劔岳山頂までの道のりは、想像を絶していた。ガレキだらけの切り立った尾根、雪崩や暴風雨など困難に

続く困難が測量隊の行く手を阻む。頂上までの登頂路すら、見つけられず、そそり立つ頂を仰ぎ見るばかりの日々。重さ100キロ超の三角点用の石柱と測量器具を担ぎ、粗末な装備で挑むにはあまりにも絶望的な状況。宇治の卓越した山に対する勘をも疑うなど、柴崎は焦りはじめていた。はやる生田は南壁を登ろうとするが、足を滑らせ転落する。軽い怪我ですんだものの打ちひしがれる7人。自分たちは本当に劔岳に登り切ることができるのか、命を危険にさらしてまで劔岳を測量する意味はあるのか、という迷いが柴崎の胸中をよぎる。

一方、日本山岳会・小島烏水も劔岳に挑んでいたが、測量隊同様、容易には進めない状況であった。ただ、山の尾根でひたすら三角点作りに邁進する柴崎たちを見て小島は自分たちとは違う仕事に対する考え方を思い知る。

「我々は登るのが目的だが、あなたがたは登ってからが仕事だ」

立山温泉で治療を行っていた生田は測量隊に再び合流する。各人の手紙を持ち帰りそれぞれが大切な人に思いをはせる。柴崎には古田からの手紙が来ていた。

「人がどう評価しようとも、何をしたかではなく、何のためにそれをしたかが大事です。悔いなくやり遂げることが大切だと思います」

今一度、皆に仲間としての結束を訴える柴崎。そびえる頂を見て何度目かの挑戦をする。柴崎と宇治は、行者の言葉にヒントを見出す。

一歩ずつ進む柴崎たちは、無事に頂上に到達し、地図作りの任務を終えられるのか……。

## 【出演者】

### 柴崎 芳太郎[浅野 忠信]



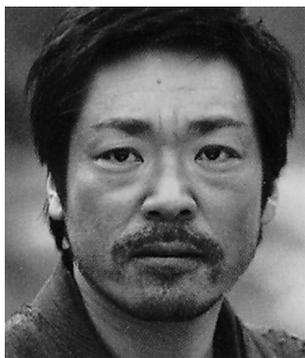
厳しい測量官としての教育を受け、陸地測量手となる。明治39年、これまで前人未踏と言われていた霊峰「劔岳」の測量の命令を受ける。想像を絶する程の劔岳の険しさの前に、大きな不安と疑問を抱きながらも、仲間達と共に命をかけて劔岳の登頂に挑む。仕事に対する責任感が強く、多くの男たちから慕われる寡黙な男。

### 柴崎 葉津よ[宮崎 あおい]



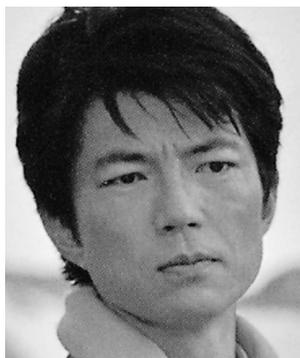
夫が測量の仕事で家を空けることが多いことに寂しさを感じることもあるが、測量の仕事に誇りを持って過酷な任務に挑み続ける夫を慕い、穏やかに見守る。厳しい任務が続く芳太郎にとっても、安らぎを感じることができる温かい存在。朗らかで、どんな時でも芳太郎の味方であろうとする、一途で健気な若妻。

### 宇治 長次郎[香川 照之]



幼少期から山仕事に従事し、山岳に精通している。多くの登山家から尊敬され、仲間からの信頼も厚い。自然を敬い、自分の身よりも他人を気にかける、熱く優しい男。地元大山村は立山信仰地域であった為、それを破ってまで測量隊に登頂を案内しようとしている長次郎と、劔岳登頂に反対している息子との間には、軋轢が生じていた。

### 小島 烏水[仲村 トオル]



日本山岳会の劔岳登頂の団を率いる。ヨーロッパ製の最新道具を備え、「我々が先に劔岳に登ってみせる」と、登山前の下見に来ていた柴崎と長次郎に言い切るなど、挑発的な態度を見せる。しかし、互いに厳しい劔岳登頂を志すなかで、ただ登るだけでなく「測量」という任務を背負った柴崎らに、深い敬意を表するようになる。

### 生田 信[松田 龍平]



柴崎芳太郎と同じ陸地測量部に所属、測夫として柴崎の助手を務める。劔岳の初登頂を日本山岳会には絶対先を越されまいと勇んでおり、それゆえ慎重に進んで行く柴崎や長次郎を急かしてしまうが、身をもって様々な苦難に直面し、仲間の助けや自然の厳しさを経験する。徐々に仲間との絆を深め、素直で謙虚な心を備えていく。

### 古田 盛作[役所 広司]



かつて軍の指令で劔岳の測量を目指し登頂に挑むが、劔岳の険しさの前に登頂を断念した経験を持つ。助言を求めに来た柴崎に過去の経験を話し、そして案内人として長次郎を薦める。途中数々の試練にぶつかった柴崎の、「一体、何のために地図をつくるのか」という心の問いに、古田自らも問いかけ、柴崎へ励ましとなる返事を書く。

# ノースアジア大学ウインドオーケストラ・コンサート

## ノースアジア大学・秋田栄養短期大学・明桜高等学校吹奏楽部

開催日時 7月17日(金) 午後1時開場 午後1時30分～4時  
会場 秋田県民会館 大ホール



### <演奏曲目>

#### 【第1部】

「待ちぼうけ」	「中国地方の子守歌」
「城ヶ島の雨」	「初恋」
「ゴンドラの歌」	「からたちの花」(ピアノ独奏版)
「夏の思い出」	「芭蕉布」
「九十九里浜」	「さびしいカシの木」
「千の風になって」	

#### 【第2部】

「吹奏楽のための序曲」  
「フィンランディア」  
ジャパニーズ・グラフィティ「グループサウンズ・コレクション」  
ジャパニーズ・グラフィティ「日本レコード大賞」  
「美空ひばりメドレー」  
「ふるさと」  
他

## ◆ プロフィール ◆



### 指揮 / 佐藤 正 人 氏

現 職 東京ミュージック&メディアアーツ尚美専任講師  
秋田吹奏楽団音楽監督  
ノースアジア大学総合研究センター客員准教授

履 歴 秋田県出身。武蔵野音楽大学でクラリネットを専攻。松代晃明・千葉国夫両氏に師事。昭和58年埼玉県川越市立野田中学校音楽科教諭として着任。12年間教職を勤める。吹奏楽部を全国有数のバンドに育てた。音楽教育では、平成3年度埼玉県長期派遣研修教員として、東京藝術大学大学院音楽教育研究室で山本文茂氏のもと研鑽を積む。平成7年4月より東京ミュージック&メディアアーツ尚美講師として着任。2006年全日本吹奏楽コンクール長年出場指揮者賞（15年）受賞。現在、川越奏和奏友会吹奏楽、秋田吹奏楽団、ソノーレウインドアンサンブル、立正大学吹奏楽部音楽監督、日本管打・吹奏楽学会副理事長、「21世紀の吹奏楽《響宴》」実行委員、埼玉県立松伏高校音楽科、武蔵野音楽大学講師。



### 出 演 / 小 林 彰 英 氏

現 職 テノール歌手  
東京音楽大学講師  
ノースアジア大学総合研究センター客員准教授

履 歴 東京藝術大学声楽科卒業。同大学院修了。文化庁オペラ研修所第6期生修了。第16回イタリア声楽コンクールソ・テノール特賞受賞。文化庁芸術家在外研修員としてイタリアに留学。在伊中、第8回エルコラーノ国際声楽コンクールで第2位入賞。オペラでは、二期会「メリー・ウィドー」カミーユ、「チェネレントラ」ラミーロ、「こうもり」アルフレードなどに出演。コンサートでは、N響・ラヴェル「子供と呪文」、都響・ハイドン「四季」、日フィル・ブリテン「セレナード」、東響・シェーンベルク「モーセとアロン」他、「第九」「メサイア」等で主要オーケストラにソリストとして出演。'05年韓国・高揚市星沙劇場、イタリア・スポレート市カイオ・メリッツ劇場で「曾根崎心中」徳兵衛に出演。現在、二期会会員。東京室内歌劇場会員。



### 出 演 / 腰 塚 賢 二 氏

現 職 ピアニスト  
東京音楽大学専任講師

履 歴 東京藝術大学作曲科卒業  
2001年・2002年、ワシントンのケネディセンターにてフルートの大和田葉子と共演し、自作の「さくらファンタジー」を演奏。  
現在、東京音楽大学及び大学院では、オペラ、伴奏法、ピアノ等、多岐にわたり指導を行っている。



## 顧問 / 白川 欽哉 氏

現職 ノースアジア大学 経済学部教授  
ノースアジア大学 吹奏楽団顧問

履歴 北海道大学大学院経済学研究科 後期博士課程  
北海道大学大学院 経済学部助手



## 顧問 / 石崎 聖也 氏

現職 明桜高等学校 教諭  
明桜高等学校 吹奏楽部顧問  
ノースアジア大学総合研究センター主任研究員

履歴 山形大学 教育学部卒業  
第25回全日本アンサンブルコンテスト全国大会金管八重奏のメンバーとして金賞受賞  
第7回秋田県青少年音楽コンクール大学の部1位  
トランペットを板倉駿夫、佐藤裕司、井上直樹の各氏に師事。  
大学在学中にボストン交響楽団首席奏者C.シュリューター、ベルリンフィルハーモニー管弦楽団T.クラモー、東京都交響楽団首席奏者高橋敦の各氏によるマスタークラスを受ける。



## 顧問 / 佐藤 由梨 氏

現職 明桜高等学校 教諭  
明桜高等学校 吹奏楽部顧問  
ノースアジア大学総合研究センター研究員

履歴 山形大学 教育学部卒業  
声楽を小野真弓、藤野祐一両氏に師事。

## <コンサート開催に向けて>

### 佐藤正人氏

今回二度目となったノースアジア大学の皆さんとのコンサート。私たちは吹奏楽を通して、音楽の愛好家の方に限らず、演奏を聴いてくださる多くの方々に「音楽の楽しさ」や「喜び」が伝わるように日々活動に取り組んでおります。この「心から心へ伝わる音楽」を創り出す姿勢は、今回のステージで一緒にする学生たちやご来場いただく聴き手の皆様にも必ず熱い想いととも伝わることと思います。コンサートでは語り交えて、吹奏楽の楽器や演奏がより皆様の身近に感じられるように企画してお送りしたいと思っています。演奏を取り巻く背景、作曲家、楽譜、楽器、演奏者、聴衆はどのように関わっているのか、その一端を垣間見て更に皆様が音楽に興味を持たれますように願っています。どうぞ最後までお楽しみください。

### 小林彰英氏

「演奏」を聞いていただくということは「料理」を食べていただくということによく似ていると思います。生前、料理人であった私の父の口癖は「口に入るものは嘘をつけない」でした。私はこの言葉を勝手にアレンジして「耳に入るものも嘘をつけない」というふうにしました。高級な食材を使わなくても、腕が少し未熟で切った具が不揃いでも、一生懸命心を込めて作れば、その作り手の真心が食べて下さる方にきっと伝わると思うのです（ある程度味はよくないとだめでしょうが）。「演奏」も同じように、無心になって心底お客様に喜んでいただこうとすれば、必ず聴いて下さる方はそこから何かを感じて心を動かしてくれると信じています。「演奏」が「料理」と同じように、お客様への“おもてなし”になれば最高です。2年ぶりにノースアジア大学・明桜高等学校吹奏楽部の皆さんと一緒にできることを楽しみにしております。

### 腰塚賢二氏

また皆様と一緒にさせていただく機会を得て、大変嬉しく思います。美しい景色、綺麗な空気と水というすばらしい環境の中で育まれた心に、音楽を通してハーモニーの架け橋をかけられますように、共にならばりましょう。

### 白川欽哉氏

ノースアジア大学ウインドオーケストラは、昨年度に続き初夏のコンサートを開催することになりました。大学の吹奏楽団にとって、本学総合研究センター主催のこのコンサートは、年度前半の活動のメインイベントとして、そしてコンクールや演奏活動において大活躍中の明桜高等学校吹奏楽部との合同演奏の機会として定着して参りました。ここ数年間に演奏させていただいた曲目のなかには、お越しいただいた方々の記憶に強く残っているものもあるかと思えます。今年もまた、皆様にとっての「お気に入りの1曲」（もちろん1曲だけとは言いません）を提供できるよう練習を積み重ねていくつもりです。シティカレッジの皆様、そして多くの市民・学生の方々と、再会することができることを、メンバー一同楽しみにしております。

### 石崎聖也氏

初めて大学、短大、高校と合同バンドとして演奏をしてから3年目のシーズンを迎えました。当時の1年生達は大学、高校共に最上級生となりました。学年が上がっただけではなく、その間、様々な演奏活動や日々の生活を通して多様に成長しました。また学生達の成長と共に演奏会の内容もグレードアップし、昨年の年末のコンサートに引き続き今回も佐藤正人先生に指揮していただくことができました。たくさんの方々に支えられこの演奏会の伝統を作り、歴史を築いて行こうと思います。若さあふれるエネルギッシュな演奏をお楽しみください。

### 佐藤由梨氏

高校生と大学生との合同演奏会も回を重ねる度に、練習・演奏を通して、音楽のみならずお互いに良い刺激になっているようです。高校生は大学生の活動に、近い将来の自分と音楽の関わり方をみているように思います。日々の練習の積み重ねを、このような形で発表できることに感謝しながら、演奏会に向けて一つになって取り組んでいけるよう精進していきたいと思っています。

いろいろな出会いを大切に、今回の演奏会も楽しさが響きわたることを願っております。今後も音楽を通して地域の皆様とつながっていったら幸いです。

● 秋田吹奏楽団音楽監督 ノースアジア大学客員准教授 佐藤正人氏監修

# 吹奏楽合奏クリニック



平成21年

7/17 金

- 午後5時30分～7時
- 秋田県民会館大ホール

モデルバンド：ノースアジア大学ウインドオーケストラ

## ♪ 吹奏楽のための合奏クリニック ♪

全国の吹奏楽ファンにとって知る人ぞ知る佐藤正人氏（本学客員准教授）が、ノースアジア大学ウインドオーケストラをモデルバンドに合奏クリニックを行います。

サウンド作りを中心とした基礎合奏、本年度全日本吹奏楽コンクールの課題曲を素材に、曲作りのポイントやコツを伝授して下さいます。さらなる演奏力向上に役立つものと信じております。

秋田市内そして県内各地の吹奏楽指導者、そして多くの中学生、高校生のご来場を心待ちにしております。入場は無料です。

# 自治体行政入門

開講日時 5月13日(水)～7月29日(水) 全8回  
各水曜日 午後6時30分～8時  
会場 明德館ビル2階 カレッジプラザ講義室  
講師 山田 芳浩氏

## ◆ プロフィール ◆

現 職 秋田県建設交通部 建設交通政策課長

履 歴 東北大学 法学部卒業  
秋田県庁へ入庁  
環境衛生課、秘書課  
人事課、教育庁総務課長など

## < 講 座 内 容 >

昨年秋のアメリカ発の世界経済、金融情勢の混迷は、金融資本市場を百年に一度と言われる危機に陥れ、我が国においても輸出、生産、収益の大幅な減少、倒産の増加、雇用情勢の急激な悪化など深刻な影響を及ぼしています。また食の安全や社会保障制度への不安等の中で、将来の予測が難しい不透明な時代になっています。こうした時代、私たち地方が頑張る以外に、生活の安定と社会の活力を維持することはできないと思われまます。

そこで、地方自治体の行政、財政、産業振興、教育の問題など様々な課題について身近な事例をわかりやすく取り上げながら、自治体や地域がその責任を十分に遂行し、実力を発揮できる方策などを皆さんとともに研究します。

日ごろ秋田県の活性化を考える方々や、これから地方分権の船頭役となる公務員を目指そうとしている方々にとっても、関心あるテーマを設定しています。

回数	テーマ	日程
第1回	地方財政制度と自治体予算のしくみ	5月13日(水)
第2回	地方分権とまちづくり	5月20日(水)
第3回	自治体の人事・給与制度	5月27日(水)
第4回	地域の公共交通政策	6月3日(水)
第5回	対岸行政とシーアンドレール	7月8日(水)
第6回	条例の制定と議会の権限	7月15日(水)
第7回	公共投資と入札制度	7月22日(水)
第8回	教育行政と学校教育法	7月29日(水)

## 経済学部講座 ～生活防衛のためのマネー講座～

開講日時 6月23日(火)～7月28日(火) 全6回  
各火曜日 午後6時30分～8時  
会場 明德館ビル2階 カレッジプラザ講義室

### ◆ プロフィール ◆

#### コーディネーター/講師



#### 海老川 寿美夫 氏

現 職 ノースアジア大学 経済学部長・教授  
「経営が見える監査入門」など担当

履 歴 日本大学大学院 商学研究科博士課程

#### — 講 師 —



#### 田 畑 貴 行 氏

現 職 (有) アセット・プランニング 代表取締役  
ノースアジア大学 経済学部客員准教授

履 歴 「パーソナルファイナンス基礎・応用」担当  
秋田相互銀行(現、北都銀行)などを経て独立  
C F P登録 1級FP技能士



#### 五 井 優 子 氏

現 職 (有) アセット・プランニング 代表  
秋田県金融広報委員会金融広報アドバイザー

履 歴 住友信託銀行などを経て独立  
C F P登録 1級FP技能士



#### 北 野 友 士 氏

現 職 ノースアジア大学 経済学部専任講師  
「現在ファイナンス論」など担当

履 歴 大阪市立大学大学院 経営学研究科博士課程修了  
博士(商学) A F P登録

## 講座内容

保険、医療、税金、年金など「お金に関することはどうも苦手だ」という方が結構います。しかし一方で、「お金についての知識がないと生活・家計を守ることができないのではないか」と感じている方も増えているのではないのでしょうか。

現代の日本社会は、お金に関することが生活のすみずみに行き渡る「金融の時代」に入っています。金融についての知識があるかないかで、日常生活のいろいろな場面で得をするか、損をするか、大きく分かれることがあります。時として、そのことで実り多い人生となるかどうかが決まることさえあります。

この講座では、よりよい生活を営み、豊かな人生を設計するのに役立つ金融の知識を6回にわたってとりあげます。



## 講座日程

回数	日時	講師	テーマ
第1回	6月23日(火) 18:30~20:00	海老川 寿美夫 氏 田 畑 貴 行 氏	ご挨拶 生活防衛とファイナンシャル・プランニング (FP)
第2回	6月30日(火) 18:30~20:00	五 井 優 子 氏	FPが指南する節約術
第3回	7月7日(火) 18:30~20:00	北 野 友 士 氏	長期的な生活防衛と投資
第4回	7月14日(火) 18:30~20:00	田 畑 貴 行 氏	老後の生活防衛と年金・保険
第5回	7月21日(火) 18:30~20:00	北 野 友 士 氏	生活防衛とお金に関する教育
第6回	7月28日(火) 18:30~20:00	海老川 寿美夫 氏	戦略的家計経営のススメ —家計にもバランスシートを—



# Open Campus

ノースアジア大学をまるごと体験しよう!

2009年スケジュール

7/4 SAT

学園祭と  
同時開催

7/5 SUN

8/22 SAT

10/3 SAT

プログラムの詳細については  
ホームページをご覧ください。 <http://www.nau.ac.jp/> 【新着情報も随時更新】



テレメールで下記の2パターンから願書が請求できます。

請求方法 ①

ケータイ・パソコンから  
<http://telemail.jp>にアクセスし、  
資料番号に**479459**と入力してください。



バーコード読み取り機能付き携帯電話から  
下記のバーコードを読み取るだけで  
アクセスできます。

請求方法 ②

自動音声応答電話から  
**050-2015-0555**に電話してください。  
自動音声の指示に従って  
**479459**と入力してください。

※願書の郵送開始は完成次第(7月頃)お送りします。  
それ以前にお申し込みの方は予約受付となります。

ノースアジア大学・秋田栄養短期大学は、みなさんの「希望日」に見学できます。

【平日】  
9:00~16:30

※土日・祝日、本学の入学試験日及び大学入試センター試験日を除きます。

キャンパス内を  
自由に見学したい!

学校単位・グループで  
見学したい!

入試関連で  
相談をしたい!

にお応えします。

※事前に入試広報課までお電話もしくはメールでお問い合わせ下さい。  
その際に希望学部・学科・希望日(第1~第3希望)・時間・人数・氏名・連絡先をお知らせ下さい。

夏休み企画 受講料無料 高校生対象『公務員試験対策講座』『街づくり講座』も実施予定!

※詳細はホームページにて掲載。

問い合わせ先 ノースアジア大学/秋田栄養短期大学 入試広報課

TEL.018-836-1342 FAX.018-836-2485  
E-mail nyushi@nau.ac.jp

## 平成21年度開催「進学説明会」本学参加予定表



秋田市	4/24	金	15:00~18:00	●ホテルメトロポリタン秋田
	5/19	火	15:00~18:00	●ホテルメトロポリタン秋田
	5/20	水	14:30~18:00	●ホテルメトロポリタン秋田
	9/1	火	15:30~18:30	●ホテルメトロポリタン秋田

大崎市	5/27	水	15:30~18:00	●大曲エンバイヤホテル
-----	------	---	-------------	-------------

横手市	5/21	木	14:30~17:30	●横手プラザホテル
-----	------	---	-------------	-----------

湯沢市	5/28	木	15:30~18:00	●湯沢グランドホテル
-----	------	---	-------------	------------

青森市	5/15	金	15:00~18:00	●青森国際ホテル
	6/12	金	14:30~18:00	●青森グランドホテル
	9/4	金	15:30~18:30	●ホテル青森

弘前市	5/13	水	15:00~18:00	●ニューシティ弘前
	6/9	火	15:30~18:00	●ニューシティ弘前
	6/11	木	14:30~18:00	●ニューシティ弘前

八戸市	5/13	水	14:30~18:30	●八戸グランドホテル
	6/11	木	15:30~18:00	●八戸グランドホテル
	9/3	木	15:30~18:30	●八戸プラザアーバンホール

盛岡市	5/14	木	14:30~18:30	●ホテルメトロポリタン盛岡
	5/18	月	15:00~18:00	●ホテルメトロポリタン盛岡
	9/2	水	15:30~18:30	●ホテルメトロポリタン盛岡

北上市	5/19	火	16:00~18:30	●ホテルニューヴェール北上アネックス
-----	------	---	-------------	--------------------

仙台市	4/15	水	15:30~18:00	●ホテルメトロポリタン仙台
	5/18	月	14:30~18:30	●仙台アエル
	6/9	火	15:00~18:00	●ホテルメトロポリタン仙台
	9/9	水	15:00~18:30	●仙台サンプラザ

鶴岡市	5/14	木	15:30~18:00	●東京第一ホテル鶴岡
	6/11	木	15:00~18:00	●マリカ西館

新庄市	5/15	金	15:30~18:00	●新庄ニューグランドホテル
-----	------	---	-------------	---------------

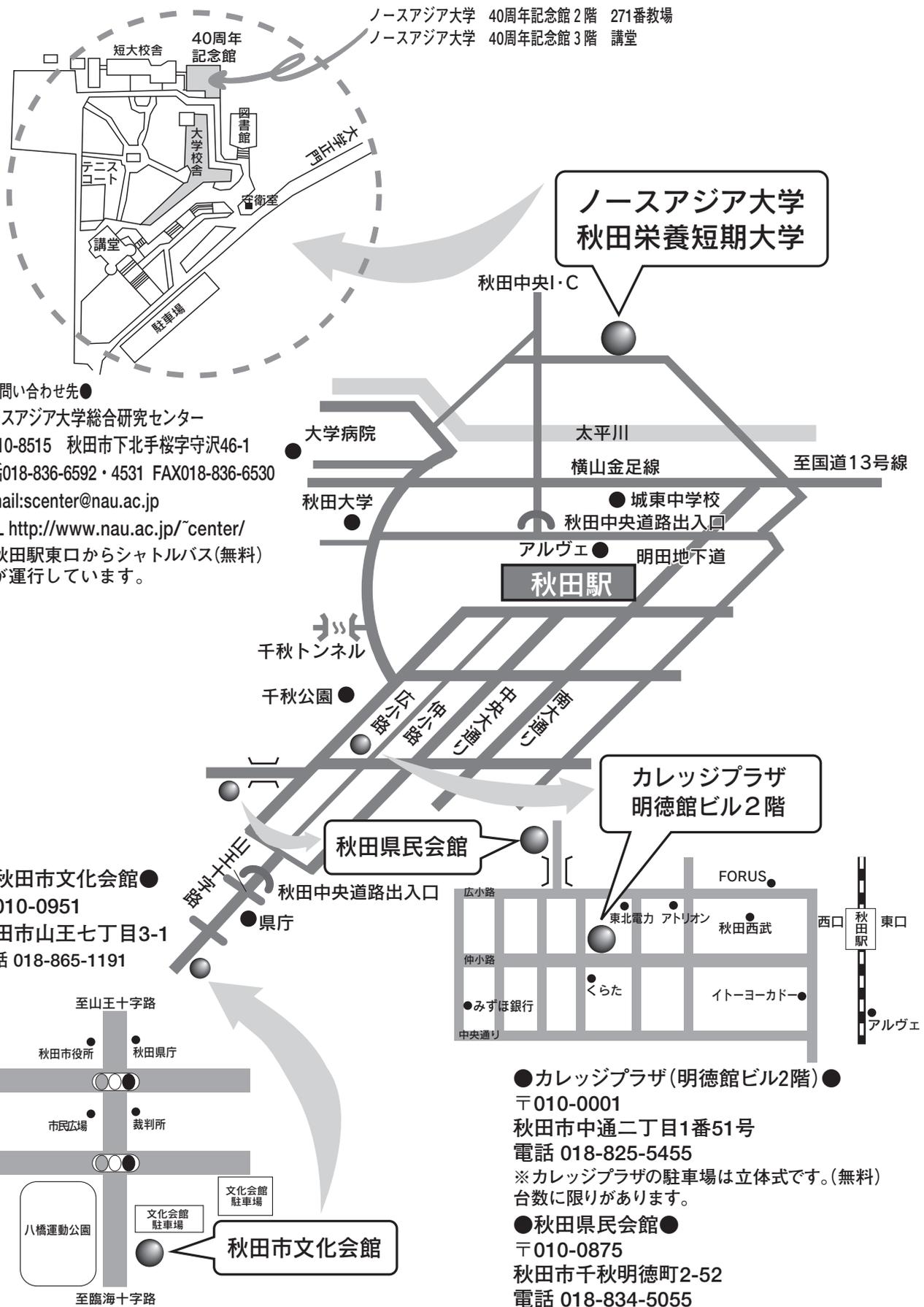
山形市	5/12	火	15:30~18:00	●山交ビル
	5/22	金	14:30~18:00	●山交ビル
	6/10	水	15:00~18:00	●山形国際ホテル
	9/8	火	15:30~18:30	●ホテルメトロポリタン山形

登米市	6/24	水	15:30~18:00	●水の里ホール
-----	------	---	-------------	---------

郡山市	9/10	木	15:30~18:30	●郡山ビューホテルアネックス
-----	------	---	-------------	----------------

※詳細はホームページにてご確認ください。

# 《会場ご案内図》



「受付番号」には、何も記入しないでください。  
 該当する「部門」に 印をしてください。  
 (高校生は必ずエッセイまたは小説・フィクションを選んでください。)

第二回ノースアジア大学  
文学賞応募用紙

受付 番号		部門	高校生	エッセイ(自由作品)	小説・フィクション	大学生	一般
----------	--	----	-----	------------	-----------	-----	----

ノースアジア大学 学長 殿

下記のとおり、第二回ノースアジア大学文学賞に応募します。

記入日：2009年 月 日

作品 タイトル名	枚数 ( ) 枚		
氏 名	ふりがな	生年月日	年 月 日
	男 ① 女	(西暦) (2009年4月1日現在 歳)	
現 住 所	ふりがな		
	〒	( TEL FAX )	
連 絡 先 (現住所以外、 帰省先等)	ふりがな		
	〒	( TEL FAX )	
在籍学校名 勤務先名			学年  年生
年	月	略歴(学歴・職歴)	

複数の場合は、本書をコピーしてご応募ください。

キ  
リ  
ト  
リ

# シティカレッジ（公開講座）受講申込書

ノースアジア大学総合研究センター 殿

下記のとおり受講申込みします。

（ 郵送 ・ F A X ）

郵送先  
〒010-8515 秋田市下北手桜字守沢46-1  
ノースアジア大学総合研究センター 宛  
F A X 番号 018 - 836 - 6530

申込日 平成      年      月      日 ふりがな ----- ご氏名 ----- ご住所 〒      -      - ----- 電話番号      (      ) E-mail      (      )	本学の学生のみ記入 経済・法・短大 学籍番号 _____ 学年 _____ 年生
--	---

	公開講座名	開催日時・会場	受講料	受講希望するものに 印をして下さい
1	第2回観光学シンポジウム 「観光立県と人材育成」	4月24日(金)13:00～ ノースアジア大学記念館3F講堂	無料	
2	福岡政行氏講演会 「2009年の政局展望と壊れてゆく日本」	5月8日(金)13:00～ カレッジプラザ講義室	無料	
	福岡政行氏講演会 「地方自治と現場力」	7月4日(土)14:00～ ノースアジア大学271番教場	無料	
3	岡田裕介氏講演会「映画よもやま話」 東映新作映画「劔岳 点の記」上映会 <u>巻末綴じ込みの専用『往復はがき』でお申し込みください。</u>	5月29日(金)13:30～ 秋田市文化会館 大ホール	無料	/
4	ノースアジア大学ウインドオーケストラ コンサート <u>巻末綴じ込みの専用『往復はがき』でお申し込みください。</u>	7月17日(金)13:30～ 秋田県民会館 大ホール	無料	/
5	佐藤正人氏監修 「吹奏楽のための合奏クリニック」	7月17日(金)17:30～ 秋田県民会館 大ホール	無料	
6	経済学部講座 ～生活防衛のためのマネー講座～	全6回 カレッジプラザ講義室	1,500円	
7	自治体行政入門	全8回 カレッジプラザ講義室	1,600円	
			<b>受講料</b>	円
			<b>受講数</b>	講座

枠内に必要事項を記入してください。  
 複数の場合は本書をコピーしてお申し込みください。  
 ご記入いただいた情報は、シティカレッジ（公開講座）受講者として登録するために使用し、その他の目的には使用いたしません。

キ  
リ  
ト  
リ

# シティカレッジ(公開講座) 受講申込書

## 『往復はがき』申込書 岡田裕介氏講演会・東映新作映画「劔岳 点の記」上映会 5月29日(金)午後1時30分～秋田市文化会館大ホール

下記『郵便往復はがき』を切り取り、(返信・往信用)50円切手を2枚(2ヶ所)  
お貼りになり必要事項をご記入の上、お申し込みください。

入場無料  
先着順

お申し込み後、追って『返信用  
はがき』にて無料入場券をお届  
けいたします。

座席数に限りあり

### シティカレッジ(公開講座)受講申込書

ノースアジア大学総合研究センター 殿 下記のとおり受講申し込みします。

申込日 平成 年 月 日	本学の学生のみ記入 経済・法・短大 学籍番号
ふりがな	学年 年生
ご氏名	
ご住所 〒	
電話番号 ( )	
E-mail	

### 郵便往復はがき

□	□	□	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---

50円切手  
をお貼りに  
なり投函し  
てください

『返信用』  
はがき

氏名

住所

(お申込者の住所と氏名をご記入ください)

下記の通り「岡田裕介氏講演会・映画上映会」に申し込みします。  
4名以上の場合は、恐れ入りますが、官製往復はがきをご準備  
して同様にお申し込みくださるようお願いいたします。

ふりがな ご氏名	〒 -	年齢 歳
ご住所		
電話番号		
E-mail		

ふりがな ご氏名	〒 -	年齢 歳
ご住所		
電話番号		
E-mail		

ふりがな ご氏名	〒 -	年齢 歳
ご住所		
電話番号		
E-mail		

ご記入いただいた情報は、シティカレッジ(公開講座)受講者として登録するために使用し、その他の目的には使用いたしません。

公開講座名	開催日時・会場	受講料	受講希望するものに 印をして下さい
1 第2回観光学シンポジウム 「観光立県と人材育成」	4月24日(金)13:00～ ノースアジア大学記念館3F講堂	無料	
2 福岡政行氏講演会 「2009年の政局展望と壊れてゆく日本」	5月8日(金)13:00～ カレッジプラザ講堂	無料	
福岡政行氏講演会 「地方自治と現場力」	7月4日(土)14:00～ ノースアジア大学271番教場	無料	
3 岡田裕介氏講演会「映画よもやま話」 東映新作映画「劔岳 点の記」上映会 ※未申し込みの専用『往復はがき』でお申し込みください。	5月29日(金)13:30～ 秋田市文化会館 大ホール	無料	
4 ノースアジア大学ウィンドオーケストラ コンサート ※未申し込みの専用『往復はがき』でお申し込みください。	7月17日(金)13:30～ 秋田県民会館 大ホール	無料	
5 佐藤正人氏監修 「吹奏楽のための合奏クリニック」	7月17日(金)17:30～ 秋田県民会館 大ホール	無料	
6 経済学部講座 ～生活防衛のためのマネー講座～	全6回 カレッジプラザ講義室	1,500円	
7 自治体行政入門	全8回 カレッジプラザ講義室	1,600円	
	受講料	円	
	受講数	講座	

枠内に必要事項を記入してください。  
複数の場合は本書をコピーしてお申し込みください。  
ご記入いただいた情報は、シティカレッジ(公開講座)受講者として登録するために使用し、その他の目的には使用いたしません。

キ  
リ  
ト  
リ

〒  
010-  
8515  
秋  
田  
市  
下  
北  
手  
桜  
字  
守  
沢  
8  
8  
3  
3  
6  
6  
6  
6  
5  
5  
3  
9  
0  
2  
1

ノースアジア大学総合研究センター

様

シティカレッジ（公開講座）  
受講申込書



この面には何も記入しないでください

郵便往復はがき

0 1 0 8 5 1 5

50円切手  
をお貼りに  
なり投函し  
てください

『往信用』  
はがき

秋田市下北手桜字守沢46-1

ノースアジア大学

総合研究センター

シティカレッジ係

行

郵便はがき

0 1 0 8 5 1 5

50円切手  
をお貼りに  
なり投函し  
てください

公開講座申込

ノースアジア大学

総合研究センター

シティカレッジ係

行

秋田市下北手桜字守沢46-1

# ノースアジア大学ウインドオーケストラコンサート『往復はがき』申込書 7月17日(金) 午後1時30分～ 秋田県民会館

下記『郵便往復はがき』を切り取り、(返信・往信用)50円切手を2枚(2ヶ所)  
お貼りになり必要事項をご記入の上、お申し込みください。

入場無料  
先着順

お申し込み後、追って『返信用  
はがき』にて無料入場券をお届けいたします。

座席数に限りあり

キ リ ト リ

郵便往復はがき

<input type="text"/>						
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

ご氏名

ご住所

(お申込者の住所と氏名をご記入ください)

50円切手  
をお貼りに  
なり投函し  
てください

『返信用』  
はがき

キ リ ト リ

〒010-8515 秋田市下北手桜字守沢  
FAX 0118 836 6539  
TEL 0118 836 6539  
021

ノースアジア大学総合研究センター

様

下記の通り「コンサート」に申し込みます。

4名以上の場合は、恐れ入りますが、官製往復はがきをご準備  
して同様にお申し込みくださるようお願いいたします。

ふりがな ご氏名		年齢	歳
ご住所	〒 -		
電話番号			
E-mail			

ふりがな ご氏名		年齢	歳
ご住所	〒 -		
電話番号			
E-mail			

ふりがな ご氏名		年齢	歳
ご住所	〒 -		
電話番号			
E-mail			

ご記入いただいた情報は、シティカレッジ 公開講座 受講者として登録するために使用し、その他の目的には使用いたしません。

50円切手  
をお貼りに  
なり投函し  
てください

『往信用』  
はがき

郵便往復はがき

0 1 0 8 5 1 5

秋田市下北手桜字守沢46-1  
ノースアジア大学  
総合研究センター  
シテイカレッジ係  
行

この面には何も記入しないでください

キ  
リ  
ト  
リ

ノースアジア大学総合研究センター  
振込金受取書（兼手数料領収書）  
預金口座払戻請求書 による振込受付書(兼手数料領収書)  
預金口座振替 による振込受付書(兼手数料領収書)  
該当するものに（またはレ）を表示します。

平成21年 月 日			
金額			円
振込先	秋田銀行本店 学校法人ノースアジア大学		
振込期限	平成21年7月23日(木)		
ふりがな	おなまえ		
ご依頼人	おなまえ		

振込手数料			円
-------	--	--	---

(消費税等が含まれています)

上記のとおり振込金として領収いたしました。

取扱店出納印
--------

(取扱店 振込人)

## 振込通知書 電信扱

下記のとおり、お振込みしましたので、ご通知申し上げます。

平成21年 月 日			
金額			円
振込先	秋田銀行本店 学校法人ノースアジア大学 普通 861545		
振込期限	平成21年7月23日(木)		
ふりがな	おなまえ		
ご依頼人 (受講者)	おなまえ		
ご依頼人住所	〒 TEL - -		

受講料振込内訳 (該当講座に 印をして下さい)			取扱店出納印
印欄	講座名	受講料	
	経済学部講座	1,500円	
	自治体行政入門	1,600円	
合計		円	

(取扱店 秋田銀行本店 ノースアジア大学)

## 振込依頼書 電信扱

振込手数料			円
-------	--	--	---

依頼日	平成21年 月 日
振込先	秋田銀行本店 普通 861545 ガッコウホウジン 学校法人ノースアジア大学 【お問い合わせ先】TEL(018)836-6592
振込期限	平成21年7月23日(木)
ふりがな	
ご依頼人 (受講者)	おなまえ
ご依頼人住所	〒
日中のご連絡先	TEL - -

金額					円
----	--	--	--	--	---

取り扱い銀行へお願い

秋田銀行の本店・支店から指定期間内「平成21年4月1日(水)から平成21年7月23日(木)まで」でのお振り込みの場合は、振込手数料をいただかないようご配慮願います。

(取扱店保管)

■平成21年度前期シティカレッジ

■平成21年3月26日 印刷

■平成21年3月30日 発行

■表紙撮影 上松 馨

■編集

ノースアジア大学総合研究センター

児玉 俊

上松 馨

石田 新

相原 恵

橋元 志保

■発行

ノースアジア大学総合研究センター

〒010-8515 秋田市下北手桜字守沢46-1

Tel.018-836-6592

■印刷

株式会社塚田美術印刷

〒010-0921 秋田市大町1-6-6

Tel.018-823-5551



お問い合わせ先



NORTH ASIA  
UNIVERSITY

# ノースアジア大学 総合研究センター

〒010-8515 秋田市下北手桜字守沢46-1  
TEL.018-836-6592・4531 FAX.018-836-6530  
E-mail:scenter@nau.ac.jp URL:<http://www.nau.ac.jp/~center/>